



最適な効果を出すために
 知っておきたい
 TMDのポイントと弱点

YACMO ヤクモ株式会社

増加する床揺れ対策・改善の相談



近年、労働生産性の向上を目指して快適でゆとりのある執務空間が求められており、広い空間を実現するために大スパンの床を構成する建築物が多く建てられています。さらに昨今の新型コロナウイルス感染防止の観点からも、一人当たりのオフィス面積の増加傾向は今後も続くと思われます。このような大スパンの床は揺れやすい特徴があります。

また、生産工場などでは設備投資による生産設備機械の新設や、生産性向上のために機械の出力を上げることによって床が揺れるようになったなど、床揺れに関するご相談が増えています。



床揺れ対策で活躍するTMD

制振装置TMDは、構造物の様々な所で使われており、水平・鉛直振動を問わず多様な振動問題を解決しています。

鉛直振動用のTMDは床や渡り廊下の上下振動対策に有効であり、よく用いられます。ヤクモでも数多くの設置実績があります。

床揺れ対策として有効なTMDですが、どんな振動も抑えてくれる万能装置という訳ではありません。今回はTMDを有効に活用するために、効果を発揮するポイントと弱点をご紹介します。



